

# 第 8 回土木技術者実践論文集研究発表会 プログラム

2026 年 6 月 9 日(火) 13:00~18:00 ハイブリッド開催

13:00~13:05 **開会・挨拶**(実践論文集企画小委員会 青木 一也 委員長)

13:05~14:05 **基調講演**(大西 正光氏: 京都大学大学院 工学研究科 教授)

「実践を科学する方法論の開拓: システミック計画論に向けて」

14:15~15:55 **口頭発表 1** (1 件につき発表 15 分、質疑 5 分)

	【1】交通施策/まちづくり 会場 1: 土木学会講堂	【2】貿易/観光/人材育成 会場 2: AB 会議室
発表 1	(1-1) 地域主体による交通課題解決に向けた住民との対話 ー東京都大島町における「まちの交通井戸端会議」の取組ー 川上 健太 中央復建コンサルタンツ(株)	(2-1) JICA の東部アフリカにおける貿易円滑化支援での実践 根岸 精一 (独)国際協力機構
発表 2	(1-2) 伊豆大島の地域課題に対応した交通施策支援の現状 と課題に関する研究 ーバスとタクシーの連携による交通ネットワーク再編に向けた実証実験ー 小出 晃 中央復建コンサルタンツ(株)	(2-2) コロナ禍の移動制限下におけるジャマイカ観光レジリエンス強化の実践 ーリモートでの合意形成と ICT 導入支援ー 寺本 雅子 国際航業(株)
発表 3	(1-3) 上田市における鉄道・路線バスの利便性向上による地域公共交通活性化 福本 雅之 合同会社萬創社	(2-3) 道路・橋梁維持管理における協働型人材育成モデル: ケニアの JICA 能力強化プロジェクトの事例分析 中島隆志 (株) 建設技研インターナショナル
発表 4	(1-4) 世界遺産都市ルアンパバーンにおける住民参加型交通整備の実践 ー段階的社会的実験を通じた人中心の空間形成と公共交通導入への取組ー 村山 直輝 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル	(2-4) 途上国における道路管理業務の高度化に向けた AI 人材育成手法の提案 ーアクティブラーニングを活用した舗装損傷検出モデル最適化の実践ー 西脇 尚也 (株)建設技研インターナショナル
発表 5	(1-5) 観光影響下における都市交通まちづくりと実装型プレイスメイキングの実践 ーラオス国ルアンパバーン市を事例にー TEH Yee Sing (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル	(2-5) 若手技術者のキャリア形成を支援する社内講師の役割再定義とその実践上の工夫 ーロールモデル型支援から内省支援型メンタリングへの転換ー 大村 初羅 ID&E ホールディングス(株)

16:05-17:25 **口頭発表 2** (1 件につき発表 15 分、質疑 5 分)

	【3】防災/事業評価 会場 1: 土木学会講堂	【4】AI/新技術 会場 2: AB 会議室
発表 1	(3-1) ODA の道路防災のための斜面对策事業に関する教訓と今後の課題 西宮 宜昭 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル	(4-1) マルチモーダル AI を用いたトンネル内変状の健全性診断への適用性に関する一考察 高津 知也 大日本ダイヤコンサルタント(株)
発表 2	(3-2) バヌアツ地震被害における緊急復旧計画の早期立ち上げに係る実務者の取組 難波 七海 (独)国際協力機構	(4-2) 整備前の遊水地を対象とした遠隔監視カメラ配置検討への仮想空間技術の適用 三上 卓 (株)エイト日本技術開発
発表 3	(3-3) 雪崩運動シミュレーションを用いた対策施設配置の検討とパラメータ設定 森 将恒 (株)キタック	(4-3) 土木設計分野における品質向上に向けた実践的取り組み エラー事例学習による品質教育と AI 活用による更なる品質向上に向けた取り組み 原田 紹臣 三井共同建設コンサルタント(株)
発表 4	(3-4) 事業評価結果からみる ODA インフラ事業の開発インパクトと事業実施上の教訓 田中 圭介 (独)国際協力機構	(4-4) ICT 技術 (ビッグデータ・画像解析技術) を活用した渋滞メカニズムの解明 熊谷 祐希 八千代エンジニアリング(株)

17:35-17:55 **実践論文書き方セミナー**(花岡伸也氏: 東京科学大学 環境・社会理工学院 教授)

17:55-18:00 **閉会・挨拶**(実践論文集企画小委員会 高島委員)